

# 化学療法指示書

(ダラキューロ+カイプロリス+デキサメタゾン)  
1クール28日 再発または難治性の多発性骨髄腫

## 第1クール

I D		外来・入院( 号室)
氏 名		性別
生年 月日	年 月 日 ( 歳)	

ダラキューロ day1・8・15・22 皮下注射 15mL/body  
 カイプロリス day1・2 20mg/m<sup>2</sup>( )mg  
 day8・9・15・16 56mg/m<sup>2</sup>( )mg  
 デキサメタゾン day1・2・8・9・15・16 20mg/body  
 day22 40mg/body  
 \*76歳以上の場合day1・8・15・22 20mg/body

主治医		CCr	ml/min
身長	cm	腎機能	正常/異常
体重	kg	肝機能	正常/異常
体表面積	m <sup>2</sup>		

		サイン			
		Pr	Dr	Ns	医事
年 月 日 (day 1)		処方箋にて入力			
内服 [ : ]	モンテルカストナトリウム10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) アセトアミノフェン200mg 4錠 1 × ( 1 ) セチリジン10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) レナデックス4mg錠( )錠 1 × ( 1 ) カイプロリス開始30分前までに内服				
① ↓ ルートキープ	② ↓ 30分	[ : ]	ボトル① 大塚糖液5% 100mL	[ : ]	ボトル② 大塚糖液5% 100mL 1瓶 + カイプロリス( )mg (30分以上) カイプロリス40mg ( )V カイプロリス10mg ( )V
[ : ]	[ : ]	[ : ]	シリンジ① (レナデックスを投与1~3時間後に投与) ダラキューロ配合皮下注 1V 皮下注射 (3~5分) ※臍から左または右に約7.5cmの腹部に皮下投与 レナデックス内服から60分以上あけて		
年 月 日 (day 2)		処方箋にて入力			
内服 [ : ]	レナデックス4mg錠( )錠 1 × ( 1 ) カイプロリス開始30分前までに内服				
① ↓ ルートキープ	② ↓ 30分	[ : ]	ボトル① 大塚糖液5% 100mL	[ : ]	ボトル② 大塚糖液5% 100mL 1瓶 + カイプロリス( )mg (30分以上) カイプロリス40mg ( )V カイプロリス10mg ( )V
[ : ]	[ : ]	[ : ]	シリンジ① (レナデックスを投与1~3時間後に投与) ダラキューロ配合皮下注 1V 皮下注射 (3~5分) ※臍から左または右に約7.5cmの腹部に皮下投与 レナデックス内服から60分以上あけて		
年 月 日 (day 8)		処方箋にて入力			
内服 [ : ]	モンテルカストナトリウム10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) アセトアミノフェン200mg 4錠 1 × ( 1 ) セチリジン10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) レナデックス4mg錠( )錠 1 × ( 1 ) カイプロリス開始30分前までに内服				
① ↓ ルートキープ	② ↓ 30分	[ : ]	ボトル① 大塚糖液5% 100mL	[ : ]	ボトル② 大塚糖液5% 100mL 1瓶 + カイプロリス( )mg (30分以上) カイプロリス40mg ( )V カイプロリス10mg ( )V
[ : ]	[ : ]	[ : ]	シリンジ① (レナデックスを投与1~3時間後に投与) ダラキューロ配合皮下注 1V 皮下注射 (3~5分) ※臍から左または右に約7.5cmの腹部に皮下投与 レナデックス内服から60分以上あけて		
年 月 日 (day 9)		処方箋にて入力			
内服 [ : ]	レナデックス4mg錠( )錠 1 × ( 1 ) カイプロリス開始30分前までに内服				
① ↓ ルートキープ	② ↓ 30分	[ : ]	ボトル① 大塚糖液5% 100mL	[ : ]	ボトル② 大塚糖液5% 100mL 1瓶 + カイプロリス( )mg (30分以上) カイプロリス40mg ( )V カイプロリス10mg ( )V
[ : ]	[ : ]	[ : ]	シリンジ① (レナデックスを投与1~3時間後に投与) ダラキューロ配合皮下注 1V 皮下注射 (3~5分) ※臍から左または右に約7.5cmの腹部に皮下投与 レナデックス内服から60分以上あけて		
年 月 日 (day 15)		処方箋にて入力			
内服 [ : ]	モンテルカストナトリウム10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) アセトアミノフェン200mg 4錠 1 × ( 1 ) セチリジン10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) レナデックス4mg錠( )錠 1 × ( 1 ) カイプロリス開始30分前までに内服				
① ↓ ルートキープ	② ↓ 30分	[ : ]	ボトル① 大塚糖液5% 100mL	[ : ]	ボトル② 大塚糖液5% 100mL 1瓶 + カイプロリス( )mg (30分以上) カイプロリス40mg ( )V カイプロリス10mg ( )V
[ : ]	[ : ]	[ : ]	シリンジ① (レナデックスを投与1~3時間後に投与) ダラキューロ配合皮下注 1V 皮下注射 (3~5分) ※臍から左または右に約7.5cmの腹部に皮下投与 レナデックス内服から60分以上あけて		
年 月 日 (day 16)		処方箋にて入力			
内服 [ : ]	レナデックス4mg錠( )錠 1 × ( 1 ) カイプロリス開始30分前までに内服				
① ↓ ルートキープ	② ↓ 30分	[ : ]	ボトル① 大塚糖液5% 100mL	[ : ]	ボトル② 大塚糖液5% 100mL 1瓶 + カイプロリス( )mg (30分以上) カイプロリス40mg ( )V カイプロリス10mg ( )V
[ : ]	[ : ]	[ : ]	シリンジ① (レナデックスを投与1~3時間後に投与) ダラキューロ配合皮下注 1V 皮下注射 (3~5分) ※臍から左または右に約7.5cmの腹部に皮下投与 レナデックス内服から60分以上あけて		
年 月 日 (day 22)		処方箋にて入力			
内服 [ : ]	モンテルカストナトリウム10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) アセトアミノフェン200mg 4錠 1 × ( 1 ) セチリジン10mg錠 1錠 1 × ( 1 ) レナデックス4mg錠( )錠 1 × ( 1 ) ダラキューロ開始60分前までに内服				
[ : ]	[ : ]	[ : ]	シリンジ① (レナデックスを投与1~3時間後に投与) ダラキューロ配合皮下注 1V 皮下注射 (3~5分) ※臍から左または右に約7.5cmの腹部に皮下投与 レナデックス内服から60分以上あけて		

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録		検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前 中 後	アレルギー反応	サイン	月 日 (day15)		前 中 後	アレルギー反応	サイン
月 日 (day2)		前 中 後	アレルギー反応	サイン	月 日 (day16)		前 中 後	アレルギー反応	サイン
月 日 (day8)		前 中 後	アレルギー反応	サイン	月 日 (day22)		前 中 後	アレルギー反応	サイン
月 日 (day9)		前 中 後	アレルギー反応	サイン					

## 開始・休薬・投与再開基準

### ダラキューロ（詳細はダラキューロ副作用マネジメントブックを参照）

- 投与前検査：骨髄機能・肺機能・輸血前検査(投与開始後は不規則抗体偽陽性になる)・肝炎ウイルス感染の有無確認のこと
- 開始基準：MMY2040試験の主な除外基準及び投与前チェックリスト参照すること
- 用量調整(増減)は行わない。以下の場合は休薬する。
  - ・G4以上の血液毒性(G4のリンパ球減少症を除く) 白血球<1000、好中球<500、血小板<25000
  - ・出血を伴う血小板減少症(G3以上 血小板<50000)
  - ・発熱性好中球減少症
  - ・G3以上の非血液毒性(ただし下記を除く)
    - 7日以内に制吐薬に反応したG3の悪心又は嘔吐 7日以内に止瀉薬に反応したG3の下痢
- 休薬後の投与再開基準 毒性がG2以下になった時点  
(ただし発熱性又は感染性好中球減少症・咽頭浮腫または気管支痙攣は回復後)  
4週間間隔時、14日以内はすぐに再開、14日超は投与をスキップする。

### カイプロリス

- 休薬
  - ・血小板減少G4、リンパ球減少G4、貧血G4、好中球減少G3~4(1000-500)
  - ・急性腎障害:Ccr 15ml/分未満
  - ・その他(非血液毒性):G3~4
- 再開
  - ・症状回復またはベースライン時の状態まで回復:医師の判断で適宜減量(適正使用ガイド参照)

## 主な副作用 ※適正使用ガイド参照

### ダラキューロ

- インフュージョンリアクション  
(鼻水・鼻づまり・せき・のどの痛み・寒気・吐き気・嘔吐・息切れ・息苦しさ・発熱・かゆみ・めまいなど)
  - ・初回に多く、注射開始から4時間が最多。遅発性に、投与開始24時間以降に症状がみられることもある。G3以上もある。
  - ・呼吸器系の症状に特に注意
  - ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)あるいは気管支喘息にかかったことのある方は特に注意が必要
  - ・G2以上のインフュージョンリアクションに対しては生食100mL+ハイドロコトロン・ポラミン1A・ファモチジン1A等で治療。
  - ・インフュージョンリアクション回復すれば再投与可能だがG3のインフュージョンリアクションが3回発現すれば以後の投与は中止。
- 骨髄抑制・感染症(好中球減少・リンパ球減少・血小板減少)

### カイプロリス

- 腫瘍崩壊症候群(尿量減少・吐き気・嘔吐・脱力感・しびれ感・筋肉のけいれん)
- 心障害(動悸、息切れ、むくみ、胸の痛み)
- 高血圧(めまい:一過性、カイプロリスによるもの)
- 下痢(週2回のカイプロリスのときに現れやすい)

## 調整および投与時の注意事項

### ダラキューロ

- 30分以上前に冷蔵庫から取り出し、15℃~30℃に戻す。未穿刺バイアルは室温で24時間保管可能。
- 15mL全量を20mLのシリンジで吸い上げる。保管は室温及び室内光下7時間まで可。
- 冷蔵庫保存は最長24時間後、室温と室内光下で7時間まで可。
- 投与する23~25G針はつまり防止の為投与直前に装着。

### カイプロリス

- 注射用水で溶解。10mg製剤には5ml、40mg製剤には20mlを使用。
- 体表面積から算出された必要量をバイアルから抜いて、総量100mlとなるように5%ブドウ糖に注入。
- 30分以上かけて点滴静注する。
  - \*自然落下方式では投与速度が低下するので、滴数を1.2~1.3倍に増加させて設定する必要がある